

鴨川市教育委員会 4 月定例会会議録

1 日 時 平成24年4月19日(木) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時50分

2 場 所 鴨川市天津小湊支所 2階 会議室

3 出席委員 (1) 佐々木久之 (2) 根本新太郎 (3) 村上 修平
(4) 佐久間秀子 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 小倉 一郎

5 委員報告

- ・佐久間委員から、小湊幼稚園と小湊小学校の入園・入学式に関して、どちらとも大変子供たちが落ち着いていたこと、幼稚園では、新入園生とは思えないほど落ち着いていたこと、小学校では、担任の先生の声や表情が大変やさしく、呼名の仕方も上手だったので緊張気味だった子供たちも安心して返事をしていたこと、ランドセルカバーなどの贈呈を喜々として受け取っていたこと等、とても印象的な式であったとの報告がなされた。また、入園式で教育委員会告辞のときに告辞者名がなかったのでタイミングがつかめず戸惑ったことも報告がなされた。
- ・村上委員から、長狭学園の入学式に関して、1年生と7年生が一緒に行う入学式を初めて見させていただいたこと、校長や教育長の話が1年生と7年生の双方に通じる素晴らしい話であったこと、小学生の呼名のときに非常に大きな声で返事ができていたこと、中学生は照れくさいのか声が少し小さく感じたこと、曾呂小学校の入園・入学式では、新入生が少ないので校長が一人ひとりの名前が言えるほど小さな学校になっていることを見て、しっかりと人間関係が築けるか集団での学習ができる環境が整えられるのか等、若干危惧の念を抱いたことについて報告がなされた。
- ・根本委員から、鴨川中学校の入学式に関して、180名の新入生徒がおり壮観であったこと、呼名や職員紹介に相当時間がかかること、式の途中で最前列の生徒が体調を崩したけれども職員が対応しその後の式が順調に進行したこと、広い会場で具合が悪くなった生徒の迅速な発見の仕方などについて報告がなされた。また、西条小学校の入学式、西条幼稚園の入園式に関して、校庭の桜が満開で素晴らしかったこと、子供がよく落ち着いていたことについて報告がなされた。
- ・佐々木委員から、安房東中学校に関して、新入生が少し緊張気味だったがよかった

こと、江見幼稚園と江見小学校に関しては、在校生の態度がとてもよかったこと、歌も上手だったことなどの報告がなされた。

6 教育長報告

- ・ 早稲田大学との交流事業で渡辺康幸駅伝部監督を講師に箱根駅伝当日までの体調管理や気持ちの高め方についてお話があったこと、昨年度始まった西条と田原の土曜スクールの閉講式があったこと、その内容は勉強の補習や野外活動を含め年22回開催したこと、今年度は天津小湊地区と江見地区で開講すること、亀田医療大学のオープニングセレモニーがあったこと、第2次高校改革に伴い長狭高等学校に医療・福祉コースを設け亀田医療大学とつなげていきたいこと、千葉県下に132校の高校がある中で医療コースは東葛飾高校と長狭高校の2校しかないこと、福島原発事故による避難民のことで厚生労働省からのヒアリングがあったこと、ふるさとに帰った避難民が大変な思いをしていること、城西国際大学で入学式で1,400名の新入生があったこと、亀田医療大学で85名の入学者があったこと、長狭高校での入学式のこと、さくら祭りや大山村塾のこと、板橋区立天津わかしお学校の入学式のこと、薬王院薬師寺堂改修工事完了報告会のこと、薬師堂は江戸時代初期の建物で大変珍しいとのこと、市内入学式関係では小学校の入学者が264名、中学校は267名、幼稚園258名いたこと、鴨川学童クラブの総会があったこと、学童クラブは現在鴨川小学校区、東条小学校区、小湊小学校区内、田原西条区内、長狭学園区内にあること、学童クラブの要望が高くなっていることについて報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・ 根本委員から東葛飾高校と長狭高校の医療科コースの目指すところについて質問があり、長谷川教育長より、千葉県は普通高校が多く高校卒業してからの出口を考える点からより専門的な内容を教える高校が必要との考えから高校改革プログラムが進められること、東葛飾高校は医師や薬剤師を視野に入れ、長狭高校は亀田医療大学との連携を含め看護師養成を中心に考えていること、コースの選択は高2でできることなどの説明がなされた。
- ・ 佐久間委員から、コース選択が高1からではなく高2からということで安心したこと、途中でコースを代えることも可能かという質問があり、長谷川教育長より、高1のときは共通科目を学んで高2のときに選択できること、学科は途中で代えられないがコースは代えられるという趣旨の説明がなされた。
- ・ 根本委員から、天津小湊土曜スクールの運営委員会はどのような組織になっているかの質問があり、黒野生涯学習課長より、まずコーディネーターいわゆる隊長を決めて、その隊長が各種団体の長や見識者の中から運営委員として依頼しているこ

と、各運営委員がいろいろな活動に協力していただける人材を募ることなどの説明がなされた。

- ・ 根本委員から、リーダーつまり運営委員長はどのようにして決めたのかという質問があり、黒野生涯学習課長より、リーダーはその地区をよく知っている人を教育委員会で探しお願いをしたこと、運営委員会はすでに立ち上がっているとの説明がなされた。長谷川教育長より、いろいろな候補者の中から人選していること、天津小湊は鈴木悦子氏に運営委員長をお願いしていることの説明がなされた。
- ・ 関連して村上委員から、土曜スクールの場所についての質問があり、黒野生涯学習課長より、天津小湊土曜スクールについては天津小と小湊小の空き教室で行うこと、交互に場所を替えて行うとの説明がなされた。
- ・ 村上委員から、土曜スクールは無料で学童クラブは有料とのことについて質問があり、長谷川教育長より、学童クラブは自主的にやっていること、就学時以降の児童に関しては保護者が責任を持つという考え方に立っていること、土曜スクールは地域の方々が地域の子供たちのためにボランティアでやっていること等の説明がなされた。
- ・ 佐々木委員から、鴨川市版漢字検定についての質問があり、蒔苗教育次長より、小中一貫教育を進めてきている中で学力向上は大きな柱であること、諮問した学力向上検討委員会から答申を受けて施策に取り入れたこと、市独自の検定であること、8月までに作成し2学期以降実施していくことの説明がなされた。加えて長谷川教育長より、基礎基本をその学年で身につけさせて次の学年に進級させること、学年毎の漢字の読み書きがしっかりできることが大切なこと、市内小中学校の教職員が作成することとの説明がなされた。
- ・ 関連して佐久間委員より、漢字検定は学年ごとかオープンかどうかの質問があり、長谷川教育長より、詳細については今後つめていくが、基本はそれぞれの学年までの漢字を確実に身につけること、今後は算数も考えているとの説明がなされた。
- ・ その他に質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市立図書館管理規則の一部を改正する規則の制定について」

- ・ 黒野生涯学習課長から、図書館利用者から貸出し冊数の要望が強いこと、近隣市町の状況も5冊以上貸出しになっていることに伴い、鴨川市立図書館管理規則の一部を改正することについて、資料を基に説明がなされた。
- ・ 村上委員から、平均貸出し冊数についての質問があり、黒野生涯学習課長より、平均貸出し冊数については資料が手元にないので不明だが、遠方の方が2週間の中で

多く借りたいと要望があること、図書以外のCDも含まれることの説明がなされた。村上委員から貸出し冊数を増やすことで図書館の図書が不足するのではとの質問があり、黒野生涯学習課長より、図書購入予算が増えていることや現在までの状況を踏まえると大丈夫との説明がなされた。

- ・議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「第2次鴨川市学校適正規模検討委員会委員の委嘱について」

- ・前田学校教育課長から、江見地区及び天津小湊地区における幼児児童の教育環境ならびに教育施設の今後のあり方を検討するため設置するものであり、「第2次鴨川市学校適正規模検討委員会」設置要綱第3条にある委員18名の委嘱について、資料を基に説明がなされた。
- ・根本委員から、公募に応募してきた人数についての質問があり、前田学校教育課長より、2名の方の応募があったことについて説明がなされた。
- ・長谷川教育長から、第2次学校適正規模検討委員会に諮問する内容について、資料を基に補足説明がなされた。
- ・佐々木委員から、IS値を公表することで保護者に不安が広がらないかとの質問があり、長谷川教育長より、現在の状況を正しく理解していただき今後のあり方を検討することが大切と考え、公表することを前提に考えているとの説明がなされた。

- ・議案第2号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(3) 議案第3号 「鴨川市文化施設運営協議会委員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、鴨川市文化施設運営協議会委員として6名を継続して委嘱することについて、資料を基に説明がなされた。

- ・議案第3号については、質疑なく全会一致で可決された。

(4) 議案第4号 「鴨川市視聴覚センター運営委員および専門委員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、鴨川市視聴覚センター運営委員および専門委員の任期満了に伴う委員の委嘱について、資料を基に説明がなされた。

- ・議案第4号については、質疑なく全会一致で可決された。

8 その他

- (1) 蒔苗教育次長から、平成24年度の鴨川市教育施策について、資料を基に説明がなされた。
 - ・佐々木委員から、昨年度実施した未来少年プロジェクトについて非常によい冊子ができ上がったこと、今後も協力していきたいとの意見が出された。
 - ・村上委員から、地産地消の視点から地元食材を使った学校給食の推進について要望が出された。
 - ・佐久間委員から、安全面の観点から、ヘルメットの確実な着用について各学校に対して指導の徹底を図ってほしいとの要望が出された。
- (2) 各課長から、資料をもとに5月の教育委員会行事予定について、説明がなされた。前田学校教育課長から、5月の定例教育委員会会議について説明がなされ、5月24日（木）に開催することとなった。
- (3) 蒔苗教育次長から、安房地区教育委員会連絡協議会総会について、資料をもとに説明がなされた。
- (4) 蒔苗教育次長から、県市町村教育委員会連絡協議会定期総会について、資料をもとに確認がなされた。
- (5) 黒野生涯学習課長から、嶺岡牧について、資料をもとに説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年5月24日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂